

法政講演 2014年10月18日

「帝国主義」論の射程—19世紀世界史構成の一視角—

南塚信吾

1. 戦後における「帝国主義」論：研究史

1) 経済史観

ホブソン『帝国主義論』（1902年）やヒルファーディング『金融資本』（1910年）やレーニン『帝国主義』（1917年）の経済的理解

2) 脱経済史観

江口編『世界の名著・レーニン』中央公論社、1966年

レーニンの政治的理解：意識性

(E. H. カー『ロシア革命の考察』みすず書房、1969年

マルクスの時代からレーニンの時代へ：「自己意識」)

幸徳秋水『帝国主義』（1901年）再評価

ホブソンの再評価

自由貿易帝国主義 ジョン・ギャラハー；ロナルド・ロビンソン **The Imperialism of Free Trade, 1953**

社会帝国主義 ハンス・U・ヴェーラー **The Socialimperialism, 1972**

文化帝国主義 エドワード・サイード『オリエンタリズム』1987年（原著1978）

2. 江口の帝国主義論再考

江口の帝国主義論のポイント

- ① 個々の国の帝国主義ではなく、全体としての帝国主義の時代として。
- ② 帝国主義は単なる経済的な事態ではない。人類の一定の経済的生産力のもとで、人々の自覚的意識のズレを操作した支配と考える。
- ③ 帝国主義は、人々の社会的自覚が高まってきている時代にあつて、世界的な規模で展開される支配と抵抗、権力政治と民主主義の対抗関係である。
- ④ したがって、国際政治的な権力外交だけではなく、それに抵抗する民衆の問題が組み込まなければならない。
- ⑤ 帝国主義が帝国主義であるかぎり、国際関係の上では、一方で緊張が緩めば、他方で緊張が高まるのであつて、ちょうどゴム風船のようなものである。つまりこの時期の世界の諸地域を有機的なつながりのある「関係」で論じることができる。
- ⑥ 支配される側の最大の問題としては、列強の圧力を受けている諸民族が、国内を革命的に民主化し、しかも相互に連帯して抵抗しない限り、より進んだ民族がより遅れた民族を足蹴にして上昇せざるをえない。そうして足蹴にされた民族の側においては、抑圧が近代的であるために民衆の抵抗はかえって「前近代

的」にならざるをえなかった。

これに加えるものは何か？

3. 帝国主義時代のグローバルな支配の「連動」

江口は、1949年に書かれた「第一次世界大戦前史概説」（江口ほか『国際関係の史的分析』お茶の水書房）において、権力政治のレベルでの国際関係史を展開していた。これは、ヨーロッパからアジアへ、そしてアジアからヨーロッパへと列強対立の焦点が変化・移動していくダイナミズムを描き出し、いわば諸地域の政治的な有機的つながりを示すものであった。その後、江口は、帝国主義の分析を進める中で、この権力政治的な国際関係史に、経済的あるいは民衆史的な要素を組み込んで、事実上、1949年の議論を新たな国際関係史として豊かにしていた。しかし、自らはそれを改めて展開することはなかった。それを、世界的規模での「緊張」と「緩和」の「連動」として構成できないか。

例) 露仏同盟→日清戦争→アフリカ→日露戦争→中東→「二州併合」→「韓国併合」
→バルカン

4. 現代国家の内なる帝国主義政策と外への帝国主義政策

かねてより「内政」と「外交」の関連として、ナポレオン三世の政策（国内の勢力基盤の弱さを「外交的栄光」でそらす）が問題とされてきた。あるいは、シュンペーターの「社会帝国主義」論は現代国家内の社会的矛盾のはけ口としての帝国主義政策を論じてきた。これを進めて、現代国家の内なる帝国主義政策と外への帝国主義政策として、再構成できないか。つまり、内へ向かっても帝国主義政策は行われているという観点を導入。そこには、帝国意識といった問題も出てくる。うちと外の帝国主義の「連動」という問題。江口のいう「意識のずれ」とか権力と民衆の問題を突き詰めていくと、こういう方向も出てくる。

例) ハプスブルク帝国：「農業社会主義」と「二州併合」

5. 終わりに

新たな「帝国」論：帝国主義論から帝国論へ？

アントニオ・ネグリ&マイケル・ハート『<帝国>——グローバル化の世界秩序とマルチチュードの可能性』、以文社、2003年（原著2000年）
ポストモダンの「帝国」論の可能性？ 江口の発展？

「帝国」という概念

〔主権の〕新たな形態は、単一の支配論理のもとに統合された一連の国家的かつ超国家的な組織体からなる。この新しいグローバルな主権形態こそ・・・「帝国」と呼ぶものにほかならない。……帝国は権力の領土上の中心を打ち立てることもない・・・脱中心的で脱領土的な支配装置なのである。……いかなる国民国家も、帝国主義的プロジェクトの中心を形成することはできない。（ネグリ）